

2013年9月11日

各位

東京大学経済学部での「医薬品産業」をテーマとする講義の実施について

中外製薬株式会社〔本社：東京都中央区／代表取締役会長 最高経営責任者：永山 治〕（以下、中外製薬）は、社会貢献活動の一環として、2013年10月より東京大学経済学部において「医薬品産業」をテーマとする講義を実施することになりましたのでお知らせいたします。

東京大学経済学部では、各産業分野の発展に照らし、その時々の問題を理論的かつ実証的に明らかにする特論的科目を選択科目として設定しています。その中で各産業分野における専門家に講師を依頼し、各業界における特性、現状ならびに今後の動向等について学ぶことを目的とした「産業事情」という講義を実施しています。2013年は、今後の日本経済の牽引産業の一つと期待されている医薬品産業がテーマとして決定され、中外製薬が講義の企画・運営を実施することになりました。

本講義では、医薬品産業の現状と直面する課題等について解説し、産業の視点からとらえた医薬品産業の特性について理解してもらうとともに、医療全体の中で医薬品産業が果たす役割等について知識を深めることを目的に、最前線の活動について講義を行います。中外製薬代表取締役会長 最高経営責任者の永山 治ならびに常務執行役員 渉外調査部長 菊池 満が非常勤講師として本講義を担当するとともに、医薬品産業に関わる産官学の関係者の方々も登壇し、それぞれの立場から医薬品産業の真の姿についてご紹介します。中外製薬は、学部生が本講義の受講を通じ、医薬品産業の特性、現状ならびに我が国が直面している課題について理解し、これらの課題解決について主体的に考える機会になることを期待しています。

中外製薬は「革新的な医薬品とサービスの提供を通じて新しい価値を創造し、世界の医療と人々の健康に貢献する」ことをミッションに定めています。その理念に基づき、次代を担う世代に向けた健康に関連する教育に社会貢献活動の一環として積極的に取り組んでいく所存です。

講義の概要

1. 大学名：東京大学
2. 講義名：「産業事情：医薬品産業」
3. 開講期間：2013年冬学期（2013年10月～2014年1月）
4. 開講場所：東京大学本郷キャンパス
5. 受講対象者：東京大学経済学部生

以上

<参考資料>

中外製薬は、良き企業市民としての役割と責任を自覚し、地域や社会との連携を保ちながら、特に「医療」「福祉」「教育」「地域社会」「環境」を重点分野とした社会貢献活動を通して地域および社会の発展に寄与し、社会とともに成長していく企業を目指しています。当社の基本方針や取り組みを当社ホームページ (<http://www.chugai-pharm.co.jp/>) で公開しております。

～中外製薬の「教育」への取り組み事例～

○早稲田大学寄附講座

社会的課題の一つである医療問題（特にがん）を考えることを通じて、学生自身が本来身近である医療に対し主体的に向き合い、また、自分自身のキャリアを考える機会を提供する講座を 2011 年から設置しています。

○慶應義塾大学寄附講座

医療政策や保健衛生などのさまざまな視点から地域・グローバルの両面で「健康」をキーワードに講義を行い、学生が「健康」という社会課題解決に向けて主体的に取り組むことを目的とした講座を 2012 年から設置しています。

○日本科学未来館のオフィシャルパートナー

館内の展示制作から館外に出向いて行うアウトリーチ活動にいたるまで、科学技術と社会とのコミュニケーションの活性化をめざす日本科学未来館（東京都江東区）の取り組みを、オフィシャルパートナーとして 2011 年より支援しています。

○「青少年のための科学の祭典全国大会」への協賛

科学に触れて体験することで得られる、科学の面白さやときめき感を提供することを目的に、当社が「北の丸博士のバイオのくすり研究室」を常設展示している科学技術館（東京都千代田区）で開催される「青少年のための科学の祭典全国大会」に 2008 年から協賛しています。

○子ども向け生物実験教室

子どもたちに理科や科学の楽しさを伝えることを目的に 2008 年から科学技術館で「生物実験教室」を開催しています。

○中外エコキッズ・プログラム

中外製薬グループの従業員の子どもの対象に、環境教育プログラム「中外エコキッズ・プログラム」を 2007 年から開催しています。

○教員の民間企業研修

先生方が企業活動への理解を深めるとともに、その体験を授業や学校運営に活かすことを目的に、当社での受け入れ研修を 2004 年から実施しています。